

礼 拜 順 序

		司 式
		奏 楽
前 奏		
招 詞	詩編 100 : 1-3	
讚 美 歌	153	
祈 禱 詩 編	50 : 1-23	
讚 美 歌	57	
聖 書	旧約 エゼキエル 17 : 22-24 (p. 1320 or 1529 ) 新約 マルコ 4 : 21-34 (p. 67 or 79 )	
祈 禱		
讚 美 歌	521	
説 教	成長する	秋吉隆雄牧師
祈 禱		
讚 美 歌	199	
奉 獻	(献金・祈禱)	
主の祈り	93-5-A	
頌 栄	24	
祈 禱		
後 奏		
報 告		

◇次週礼拝◇

説教 わたしは既に世に勝っている 斎藤忠雄伝道師  
聖書 詩編 84 : 1-13  
ヨハネ 16 : 25-33  
讚美歌 153 57 356 471 24  
交読詩編 50 : 1-23

◇本日の集会◇

求道者会 礼拝後 於 談話室  
初めて教会に見えた方、求道者  
(洗礼を受けておられない方) は  
お集まりください。  
第 49 回定期教会総会 於 礼拝堂  
教会員は必ずご出席ください。出  
席できない方は委任状をご提出くだ  
さい。

◇今週の集会◇

婦人会親睦会  
23日(火) 午前10時  
大船駅 改札口集合  
大船フラワーセンターに行きま  
す。多数、ご参加ください。  
洋光台集会  
24日(水) 午後1時半  
入 門 講 座  
25日(木) 午前10時  
牧師面会日  
25日(木) 午後

◇報告とお願い◇

次主日礼拝後、教会学校教師会と  
伝道委員会をいたします。また、「若  
木-20周年記念特別号」の丁合(製  
本のためのセッティング)をいたし  
ます。多くの方のご協力をお願いい  
たします。

◇今週の誕生者◇

◇集会状況◇

		男	女	計
讚美歌歌う会	5/12	0	5	5
主日礼拝子供	5/14	4	24	28
大人	5/14	32	60	92
ピクニック子	5/14	1	9	10
大	5/14	8	7	15
Bible 講読会	5/15	0	3	3
旧約を読む会	5/16	2	11	13
本郷台集会	5/17	2	8	10
入 門 講 座	5/18	6	7	13

◇牧師室から◇

森嘉朗首相は神道政治連盟国会議  
員懇談会で「日本の国、まさに天皇

中心の神の国であるぞということ、国民の皆さんにしっかり承知していただくというその思いで我々が活動をして三十年になる」と語った。唾然とし、日本の政治の貧しさに怒りを超えて悲しくなった。

大日本帝国憲法第1条は「大日本帝国ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス」、第3条「天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス」と謳い、天皇絶対国家であった。この国を天照大神から綿々と続く天皇の支配する「神の国」と言った。そして、この超国家観で無謀なアジア諸国への侵略を計った。しかし、その反歴史的な野望は当然ながら悲惨な形で打ち砕かれた。森首相の「日本は天皇中心の神の国」発言は戦前の天皇主権への回帰である。

日本国憲法第1条は「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であって、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基づく」とある。私は天皇制がなくならない限り、日本に民主主義は育たないと思っている。しかし、現憲法でも、主権は国民にあり、その総意の元での象徴天皇であると謳っている。そして、第98条の1項に「この憲法は、国

の最高法規であって、その条項に反する律法、命令、詔勅及び国務に関するその他の行為の全部又は一部は、その効力を有しない」とある。森発言は明白な憲法違反であり、即刻辞任すべきである。

グローバル化は良い意味でも悪い意味でも進んでいる。その時、「神の国」などと非歴史的な言葉で言う政治家がいるだろうか。外国人には全く陳腐に聞こえるだろうし、かつて侵略された国々の人々は身の毛のよだつ思いがするだろう。しかし、森首相は「その思いで我々が活動をしてきて三十年になる」と軽率な発言ではなく、本音の政治信条であると語っている。確かに、最近の政治の流れはここに向かっていく。「日の丸・君が代」が法制化された。昭和天皇の亡くなった日は「みどりの日」で、私たちの教会では「バザーの日」として定着しているが、この日を「昭和の日」にするという。昭和天皇の戦争責任問題は不問、タブー視され、歴史を大きく歪曲しようとしている。主権は国民にあることを断固獲得していかなければ、私たちの国は取り返しのつかない間違いを再び犯す。

## 週 報

2000年5月21日 復活節第5主日  
巻 21 8号

2000年度 教会主題

「主イエスに従う」

聖句 わたしの後に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのため、また福音のために命を失う者は、それを救うのである。

マルコによる福音書 8章34節b-35節

- 目 標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
  2. 十字架の福音に従い、これを宣教する。
  3. 教会創立20周年記念を祝い、将来を語り合う。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

横浜市港南区港南台7丁目8-29

郵便番号 234-0054

電 話 045-833-5323

F A X 045-833-6616

振 替 00290-4-1399

牧 師	秋 吉	隆 雄
伝道師	齋 藤	忠 雄